

ガバナンスとセキュリティに Boxが効きます!



ランサムウェアはデータやコンテンツそのものを狙っています。一方、メール添付によるファイル共有はまだまだ多くの企業で行われています。そして、メールで共有できないとシャドーITが利用されてしまうことも。DX時代では、コンテンツそのものを守るより粒度の細かいセキュリティや統一された情報ガバナンスによる対応で、情報漏えいやセキュリティ事故を防げます。

1

マルウェア対策

メール添付(PPAP)による共有からの脱却で、Emotetやランサムウェアのリスクが格段に下がります。

2

コンテンツセキュリティ

誤操作による情報漏えいを防止する仕組みや、異常なアクセスを検知するガードレール機能が、ユーザーの使い勝手を変えずコンテンツを守ります。

3

証跡と国際規格準拠

いつ誰が何をしたのかの全操作ログが残る、監査やガバナンス強化に役立ちます。多くの国際的なコンプライアンスやセキュリティ規格にも準拠しています。

4

一元管理

企業の情報資産であるコンテンツを一元管理することで、セキュリティもガバナンスもポリシーを統一することができます。

DX時代のセキュリティ&ガバナンス対策

ランサムウェアに代表されるサイバー攻撃が頻発し、オフィス以外の場所からも働くハイブリッドワークや多様な働き方がされるDX時代において、今まで以上に情報資産を守る対策が欠かせません。また、企業は法定保存義務が必要なコンテンツを多く持ち、情報ガバナンスという面でもリテンション管理や作成から戦略的破棄までのライフサイクル管理が求められます。コンテンツクラウド「Box」は、ゼロトラストの一步先のより解像度を上げたコンテンツセキュリティの下、ランサムウェアや悪意のないうっかりミス、また悪意のある内部犯行からも企業資産を守ります。企業や組織はDX時代の情報ガバナンスと情報セキュリティの対策が可能となります。

守るべきものを確実に守る！ Boxのコンテンツセキュリティ

時代は境界型セキュリティからクラウド指向のゼロトラストへ移行中。しかし、ゼロトラストだけでは足りません。外部からの攻撃も内部犯行からも情報資産を守るには、解像度を上げた「コンテンツセキュリティ」が必須です。守るべきものは“コンテンツ”そのものです。

コンテンツ保護の基本機能

- ・2要素認証
- ・デバイストラスト
- ・7段階のアクセス制限
- ・外部共有の制限
- ・電子透かし
- ・バージョン管理
- ・リテンション管理
- ・ログ管理…



スマートアクセス

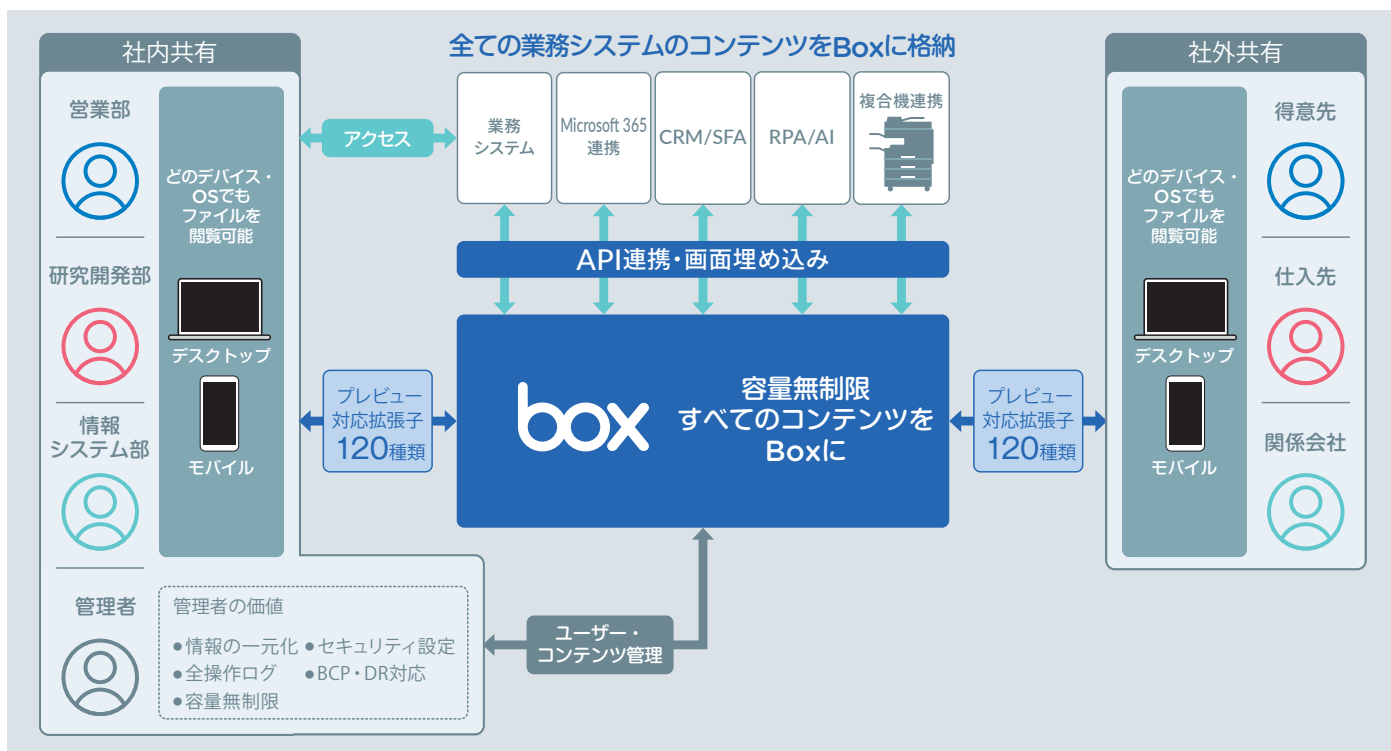
過失による情報漏えいを防ぐ
インテリジェントなガードレール



脅威検知

ユーザーやコンテンツの
異常操作(脅威)を検知

ビジネスを支えるコンテンツクラウド「Box」



株式会社 Box Japan

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング15階
www.box.com/ja-jp/home
Box 導入に関するお問い合わせ
www.boxsquare.jp/inquiry
Box 製品ご購入後のサポートに関するお問い合わせには
返信できませんので、予めご了承ください。

販売代理店